

ふれあいましあつ ますだしょうた

題字

三水第一小学校1年

2017
2/28

No.131

HUREAI POKETTO



「クロスロード（防災ゲーム）を体験！！」 ～北部高校 超ボランティア講座～

2月1日、北部高校2学年の地域授業「超ボランティア講座」最後の授業が行われました。

今回は、長野県危機管理防災課の防災指導員の方を講師としてお招きし、防災ゲーム「クロスロード」を体験しました。クロスロードは、「重大な分かれ道」を意味する英語で、ゲーム形式の防災教育教材のことを指します。4人ずつのグループに分かれ、ある問題に対して「YES」か「NO」か、それぞれ示して意見を出し合います。これは防災への意識を高めること・自分とは異なる意見に気付いて共感すること・自分の意見を客観的に見つめることが目的で、正解はありません。「避難勧告が出た際、大好きなペットも一緒に避難所へ連れて行きますか？」「念願の新築の家の壁に穴を開けてまで耐震用の金具をつけますか？」などの問題が出され、活発な話し合いが行われました。皆さんは、「YES」ですか？「NO」ですか？

●●●主な記事●●●

P 2

有償の支え合いサービスについて
ボランティア保険の受付について

P 3

平成 29 年 3 月社協予定表
自然育児のススメ
いづなの福祉事業所紹介

P 4

まちがいさがしクイズ
新 ささらばさら(4コママンガ)
りんごのつぶやき

有償の支え合いサービス 福井団地区の取り組み

福井団地区では、※¹CCR事業と※²介護予防・日常生活支援総合事業の一環として、有償の支え合いサービスが試行的に始まりました。

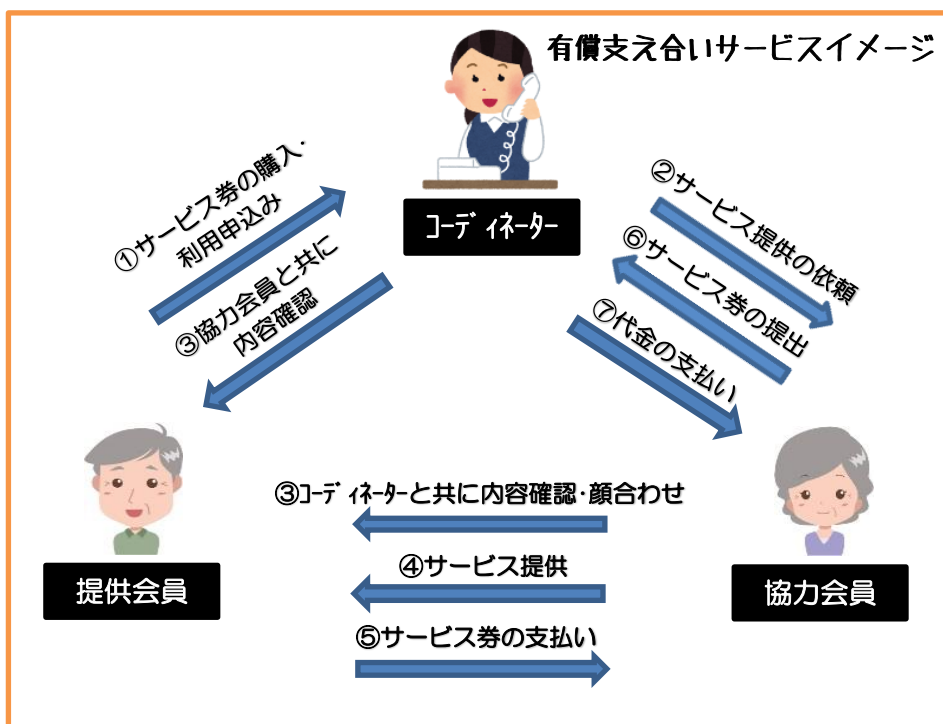
有償での支え合い活動は、様々な理由により日常生活上の困りごとが生じたときに、専門的な知識や技術を必要としないサービスを地域の住民同士が提供し合う仕組みです。

暮らしやすい町づくりの基本としては、従前のボランティア(無償)の重要性に変わりはありませんが、「無料では依頼しにくい」「お互いさまの気持ちで手助けしたのに過分な御礼をいただいてしまった」といった場面で、低額な料金を対価に支え合う仕組みづくりがあることで解決に至らない困りごとを減少させることが期待できます。

福井団地の取り組みでは、まとまった量の降雪があったため除雪支援の依頼が集中しましたが、サービスを利用した方全員が継続利用を希望するなど好評でした。

飯綱町社会福祉協議会では、福井団地区での取り組みをモデルに来年度全町での有償の支え合いサービス実施を目指しています。

有償支え合いサービスイメージ



※¹ CCR事業(飯綱町版)
飯綱町総合戦略の基本方針である「町内に住むあらゆる世代が元気に楽しく暮らすことのできる夢と希望にあふれる町」を実現するため、福井団地区をモデル地区に、高齢者をはじめ若者や障がい者等が共働して、多世代が交流できる「地域交流拠点」の整備を目指すもの

※² 介護予防・日常生活支援総合事業
介護保険制度によるサービスだけではなく、地域住民をはじめとした企業、地縁団体など多様な担い手による高齢者の支援体制を、地域の中につくっていくことを目指すもの

平成29年度ボランティア 活動保険受付開始

ボランティア活動中の様々な事故によるケガや損害賠償責任を補償します。

◆補償期間

平成29年4月1日～平成30年3月31日(途中加入も可能です。掛金は変わりません)

◆加入手続き

ボランティアセンターにある所定の「申込書」に必要事項を記入し、掛金と一緒に提出ください。

◆保険料

基本タイプ

Aプラン ↓ 350円
Bプラン ↓ 510円

天災タイプ

Aプラン ↓ 500円
Bプラン ↓ 710円

◆備考

社協に登録をされた町内在住又は町内でボランティア活動をする個人・団体一人当たり100円の助成をいたします。

◆問合せ

飯綱町ボランティアセンター
電話：253-1001

飯綱町社会福祉協議会 予定表【平成29年3月】

月	日	曜日	内容	月	日	曜日	内容
3	11	土	地域福祉フォーラム	3	13	月	オレシカフェ
	12	日	住民ディレクター 養成講座		16	木	いきいきサロン 全員集合！！

《自然育児》のススメ〜子どもへの言葉2〜

言葉遣いを変えるのは、そんなに大変な事ではないと思いますが、「何を」言葉にするかは、我が家も現在進行形の悩みですし、工夫のしどころになっています。

大体失敗し易いのが「言い過ぎ」です。子供自身に片付けて欲しいから・宿題が終わっていないから・もう寝る時間が過ぎているから、など単に心配を口に出しているつもりが、何度も繰り返している間に結局「うざい」と思われてしまいがちで、言い過ぎには効果がないと思います。

子供が小さかった頃、「猫を追うより皿を引け」と言われました。子育てに当てはめると「子供を叱る前に、その原因をなくせ」という意味になります。

つまり、子供に片付けてもらいたいもの（例えばおもちゃ）の量を減らす、夕飯前など宿題時間を前もって確保する、一日の流れを決まり良く、場合によっては意図的に前倒しする、など「言い過ぎ」になる原因を減らすように心掛けています。

「親の小言となすびの花に、千に一つの無駄はなし」とか。価値のある「お小言」にしたいと思っています。

by 唯〇母

飯綱町の事業所紹介

《社協以外の事業所を紹介します》

NPO法人さみずさんばだより

申年が終わり、赤いパンツブームも去りました。このブームは、日本中の各地域に「女衆は、申年に娘から赤いパンツをもらい、ちよっと身に着けた後、仏壇の裏にそっと隠しておく」と下の世話にならない。」という言い伝えからきているそうです（知る人ぞ知る！）。さんばでも、ある職員が、お母さんに赤いパンツを贈ったところ、お母さんはいそいそ喜び、さっそくお風呂上りに身に着け、素早く脱いでそっと仏壇の裏にしまったそうです。「赤い色のパンツは嫌だ」「仏壇の裏に隙間なんてない」「それで世話にならなくて済むなら苦労しないよね」などの声が聞こえてきそうです。が、贈られたお母さんの暖かい気持ちや伝わってくる良い話ではありませんか。今度の申年は十二年後です。「だめだ！もう間に合わねえかも！」なんて思っていないで、さんばに来てみてください。その手の話を、じっくりしましょう。

第129回 まちがいさがしクイズ解答

答え

- ① 電車の中の女の子の右手
- ② ホームで見送っている人の帽子
- ③ 電車の上の鳩

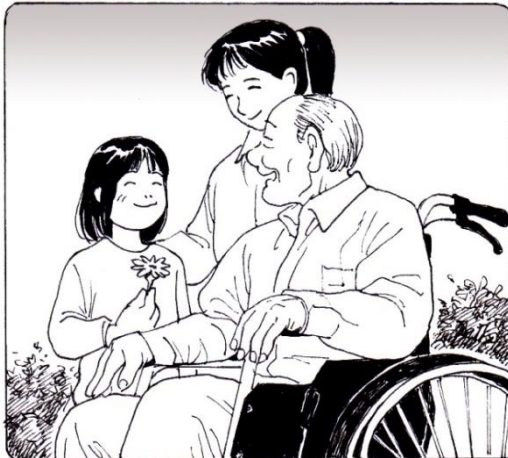
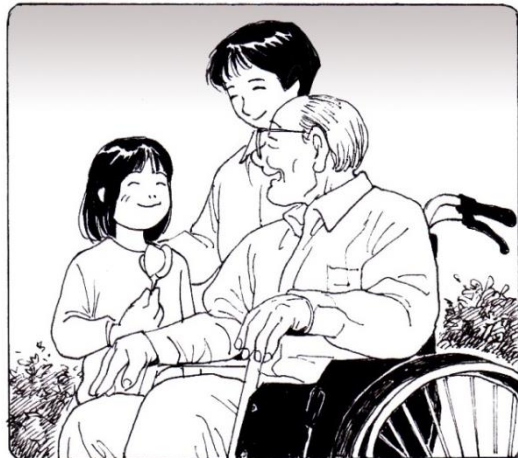
小林 康子 様 / 羽入田 秀子 様 / 清水 宣子 様
武藤 あいか 様 / 吉澤 忠男 様

上記の皆様が当選されました。おめでとうございます。
当選された方の景品につきましては、飯綱カード協同組合からのご協力をいただいております。

Q まちがいさがしクイズ♪

—第130回— 今月も「まちがいさがしクイズ」に挑戦
正解者の中から5名様に素敵なお楽しみプレゼント!

新ナゾはナゾ 83
こぼれしるみち



※第129回まちがいさがしクイズの答えと当選者の発表は前ページに掲載してあります。

ハガキ表
おまち
52 389-1201
いいづなまちいもがわ
飯綱町芋川181
いいづなまちしゃかいふくしきょうぎかい
飯綱町社会福祉協議会
「まちがいさがし」

ハガキ裏
こたえ
なまえ
名前
住所
電話番号
今月号の感想、自然
育児のススメでとり
あげてほしいテーマ
などについて

左右の絵を見比べて3つの間違いの答えがわかった方は、左記の要領で記入の上、ご応募ください。社協ホームページクイズ応募フォーム又は社協来所による応募も受け付けております。(町内在住の方に限ります) 締切りは、3月16日(木)です。【消印有効】多くの皆様のご応募お待ちしております。

寄付

仲俣 孝志 様	お米	100 kg
伊藤 博文 様	30,000円	
島田 洋審 様	50,000円	
小林 仁司 様	50,000円	
長野県労働金庫	60,000円	
長野東支店 様		

地域福祉の推進に活用させていただきます。
ありがとうございます。

りんごのつぶやき

飯田市在住で、県南部の下伊那地域のまちづくり・村おこし活動の第一人者である高橋寛治さんの講演をお聞きする機会に恵まれた。近年どの市町村も人口を増やそうと必死で、あの手この手で移住者増に努力している。飯綱町でも「地域おこし協力隊」を迎え、「飯綱町に住もうプロジェクト」などの施策を実施している。しかし高橋さんによると、その地域に人が増えるようにするにはまず進学や就職で都会へ出た子供が安心してふるさとに戻れるようにすることが大切、もはや都会へ出て立身出世を目指すような時代ではない、と。自分の子供が帰って来ないのに都会の人に「ぜひ移住しませんか」と言うのは矛盾している、と。なるほどその通りだと感じた。(かつて「農村の嫁不足」が問題となった時、ある農家のご主人が「我が家では息子には『早く嫁をもらえ』と言い、娘には『農家は大変だから嫁ぐな』と言っている」と、そんな話もありましたね)

高橋さんによると、子供が帰ってくる地域とは、「帰る家で夫婦の仲が良い」「地域の仲が良い」「家の中や、地域の中に居場所がある」「地域にお店がある」「地域内での経済サイクル循環を住民が了解している」「地域で使える資格を持っている」「地域で仕事をつくっている」「これらがポイントだそう。飯綱町でもそういう地域を目指すとするならば、役場にも、社会福祉協議会にも、そして我々住民にも何かできることがあると思う。一度こういうテーマで地域の懇談会をやってみてはどうか? きっといろいろなアイデアが出て、良い施策が生まれるのでは、と思った。